

小郡市地域おこし協力隊
による活動報告コラム。

小郡農業活性化

小郡で育てて

小郡で食べる

日々の活動を
配信中!

小郡市地域おこし協力隊

moromoro82

nougyou_ogori82

就労支援施設で行われ
たラッキョウの皮むきの
撮影風景



諸岡佳紀(もろおかよしき)

1984年、佐賀県生まれ。京都の大学を卒業後、金融業界、新聞社で10年間勤務。小郡市に住む友人の影響で、まちの魅力を身近に感じ、地域おこし協力隊に興味を抱く。35歳の節目に一念発起で応募。

「Fromおごおり」が農をテーマに情報発信サイトを開設

小郡の魅力を再発見してもらおうと活動している市民団体「Fromおごおり」。昨年は農業をテーマにフォトコンテストを開催しました。今年も「田園都市ならではのまちおこし企画を!」と、情報発信サイト「おごおり農業図鑑」を立ち上げました。サイトでは、市内のあらゆる「農」を写真だけでなく、3分程度の動画でも紹介。第1弾として「農業図鑑が始まりました!」がすでにアップされています。代表の藤岡大輔さんは「コロナ禍でうち時間が増える中、動画視聴が娯楽のひとつになった。地元の話題を楽しい映像で届けるので、ぜひ視聴してほしい」と呼びかけています。

6月上旬、私も動画の撮影に同行しました。この日は、就労支援施設で行われたラッキョウの皮むきの様子取材。撮影者の藤岡さんが、「作業のコツはなんですか?」「完成が楽しみです」などと話しかけ、和やかな雰囲気の中撮影が行われました。動画による情報発信の強みは、このようにコミュニケーションをとりながら、その場や人が作り出す雰囲気も伝えることができるのだと感じました。今後も「Fromおごおり」の活動に注目していきたいと思っています。



情報発信サイト
「おごおり農業図鑑」。
3月まで毎月動画を
掲載する予定です



Ogostagram

地域おこし協力隊の日々の活動記録。



7月上旬、大崎の生産者直売所「宝満の市」で、店舗化1周年イベントが開催されました。オクラやジャガイモなどの夏野菜の詰め放題があり、大賑わい。



二森の中華料理店「香春閣(こうしゅんかく)」で自家製の柚子コショウが販売されています。激辛ですが、鍋もの、みそ汁、刺身のしょうゆなどによく合います。



市民団体「花立山芋っこ隊」のメンバーが、秋に開催予定の市民参加型の芋ほりに向け、苗植えをしました。夏を乗り越え大きく実ってほしいものですね。



平岡学園が運営するカフェ「CAFE DE HIRAOKA」でスムージーが販売されています。寺福童のハウスで学生さんが収穫したイチゴを使用していますよ。



現在、私は市内の直売所・無人販売所を紹介する地図を制作しています。直売所・無人販売所の情報をお持ちの方は、お寄せください。(締切は8月20日)



大保の森山酒造で、奈良漬の漬け込みが始まりました。山隈で採れた丸々としたうりを使用。7月中旬から市内産地直売所で販売されています。